

安全・環境『見える化運動』

【重機作業】トリプルポイント

1. キャタコーンによる周囲確認作業



作業前に、キャタコーンを取り除く行為が、バックホウの周囲確認につながり、作業前安全確認となる。（狭い作業スペースには、特に有効となる。）

2. グーパー運動による合図確認

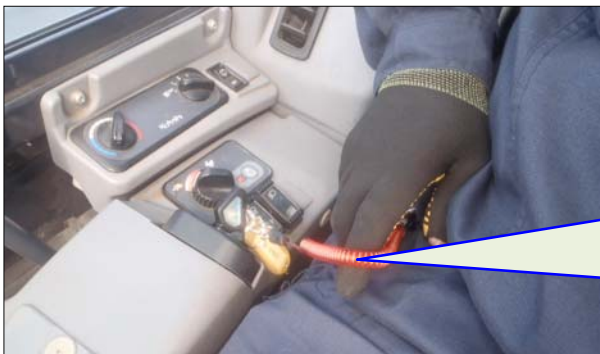
重機OP:グー
(了解!!)



作業員 : パー
(止まって!!)



3. 重機のエンジン切忘れ防止対策



重機のエンジン稼働のまま、
運転者の離席を防止するため



セーフティコード使用により
鍵と運転者を一体化

日高自動車道 日高町 清畠西改良工事

安全・環境『見える化運動』

【吊荷作業】トリプルポイント

1. ワイヤー置場の見える化



ワイヤー 径16～20mm	ワイヤー 径10～14mm
スリング	介錯ロープ
	クランプ

ワイヤーを径・吊具の種類ごとに置き場を設定(色分け)することで、整理整頓・点検および使用時の選定を容易にした。

2. 介錯ロープの見える化



赤：吊荷から
0～1.5m
黄：吊荷から
1.5～3.0m
緑：吊荷から
3.0～5.0m



長さごとに色分けされた介錯ロープを使用することにより、視覚的に安全な距離を把握することができる。

3. クレーンフックの見える化



フック周辺の位置を夕暮れ時にも、オペレータと合図者等にわかり易くするため、『蛍光テープ』を張り付けて、視覚化した。

日高自動車道 日高町 清島西改良工事